

〈解答〉

- ① 1 a : 学制 b : 徴兵令
2 a : イ b : 西南戦争
3 エ
4 記号 : エ

考え方 : [例] 普通選挙によって有権者が増え、多くの人の意見が反映される政治。

- 5 (1) イ, オ (順不同・両解) (2) ア

配点 ① 5(1)は2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 政府は、フランスの学校制度にならい、1872年に学制を公布した。6歳以上のすべての男女に小学校教育を受けさせようとしたが、授業料を出さなければならず、働き手としての子どもをとられるので、学制に反対する者もいた。また、1873年に徴兵令を出し、満20歳になった男子から徴兵を行った。しかし、多くの徴兵免除規定があったため、実際に兵役についた人の多くは、農家の次男、三男たちであった。
- 2 明治政府の改革で特権をうばわれたことに不満を持つ不平士族たちが、西日本を中心に各地で反乱をおこした。1877年には、西郷隆盛を中心に、政府に不満を持つ士族ら約4万人が西南戦争をおこした。しかし、徴兵令によって組織された近代的軍隊が士族の軍を破り、以後、武力による反乱はなくなった。
- 3 1880年には、各地の自由民権運動の代表が大阪に集まって国会期成同盟を結成し、約8万7000人の署名とともに国会開設の請願書を政府に提出した。ア1912年、立憲政友会の内閣が倒され、藩閥の桂太郎が首相になると、新聞や知識人は、藩閥を倒し、憲法に基づく政治を守ることをスローガンとする運動をおこした。また、1913年2月、数万人の民衆が国会議事堂を取りまき、桂内閣の退陣をせまった。イ1867年、伊勢神宮などの札が天から降ってきたとあって、人々が「ええじゃないか」とはやし立てながら踊るさわぎが広がった。ウ第一次世界大戦後の1920年に日本で最初のメーデーが行われた。
- 4 1916年、吉野作造が民本主義を提唱するなど、政治の民主化を求める国民の声もしだいに強まっていった。民本主義はデモクラシーの訳語であるが、国民主権を意

味する民主主義とは一線を画し、天皇主権を規定する大日本帝国憲法の枠内で民主主義の長所を採用するという主張で、美濃部達吉の天皇機関説とともに大正デモクラシーの理念となった。ア三民主義は、孫文が唱えた民族の独立、民権の伸長、民生の安定を目指すという考えである。イ 19 世紀後半になり、欧米諸国では資本主義が発達し、大会社は市場や原料を求めて海外に進出した。大会社と結びついた政府や軍隊が武力で植民地を獲得するようになった。こうした動きを帝国主義という。ウ社会主義は、土地や工場を社会の共有にして、労働者や農民の平等な生活を実現しようとする考えである。

- 5(1) 日本は、ドイツとイタリアがヨーロッパで、日本がアジアで指導的地位につくために協力し合う目的で、日独伊三国同盟を結んだ。
- (2) 1956 年に鳩山一郎内閣がソ連と日ソ共同宣言を調印し、北方領土問題は未解決のまま、戦争状態の終了を宣言し、国交を回復した。この結果、シベリア抑留者全員の帰還と、日本の国際連合への加盟が実現した。イ 1945 年 8 月 8 日深夜、ソ連は、ヤルタ会談での密約をもとに日ソ中立条約を破って満州や南樺太に攻め込み、日本軍と衝突した。事態を重くみた日本政府は、ポツダム宣言ならば天皇制が維持できることなどを理由に、8月14日にこの宣言を受け入れて降伏することを決めた。ウ 1951 年にサンフランシスコ平和条約が結ばれてからも、日本と韓国・中国との間には国交がなかった。韓国との交渉は 1950 年代から始まり、ベトナム戦争中のアメリカの強い要請もあり、1965 年、日本は韓国と日韓基本条約を結び、国交を正常化した。エ 1951 年のサンフランシスコ平和条約と同時に、日本とアメリカとの間に日米安全保障条約が結ばれ、日本はアメリカ軍が引き続き国内に軍事基地を置くことを認めた。